



館 報

No.16



令和3年度

埼玉県立さきたま史跡の博物館

目 次

1	設置の目的	1
2	沿革	1
3	埼玉県立史跡の博物館の使命	2
4	事業	2
5	組織	2
6	特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員	3
7	予算	3
8	施設・設備の概要	4
9	さきたま風土記の丘	6
10	令和2年度事業報告	6
11	令和3年度事業計画	9
12	入館者数等	12
13	展示解説・ボランティア活動等	14
14	関係刊行物	15
15	企画展等	16
16	利用案内	17



さきたま
埼玉古墳群

1 設置の目的

県名発祥の地「埼玉」は、延喜式内社前玉神社、石田三成による忍城水攻めの遺構である石田堤、忍藩主松平家の菩提寺天祥寺など、豊かな歴史遺産に恵まれている。古くから埼玉の地の象徴とされてきた埼玉古墳群は、5世紀後半から7世紀前半にかけて築造された大型前方後円墳が集中する日本有数の大古墳群である。昭和13年には国史跡に指定され、平成元年・同25年・同30年の追加指定を経て、令和2年には特別史跡に指定された（指定面積約27.7ha）。

昭和42年には、古墳群を中心とした広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設した。その建設計画の一環として古墳群等から出土した考古資料や郷土の民俗資料を保護・活用するため「さきたま資料館」を昭和44年に設置した。

平成16年度に県教育委員会では、県立博物館施設の再編整備計画を策定し、8つの博物館施設を専門分野別に4つのグループに再構築することとした。当館は、歴史資料館（現・嵐山史跡の博物館）とともに「史跡系博物館」グループと位置付けられた。古墳を中心とする史跡に関する資料と考古資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図るための博物館と明確にされた。民俗資料の博物館（現・歴史と民俗の博物館）への移動作業や館内展示改装工事を行い、平成18年4月1日から「さきたま史跡の博物館」としてリニューアルオープンした。

2 沿革

昭和41年5月	用地買収開始	平成10年11月	稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯銘発見20周年記念事業開始
昭和42年4月	さきたま風土記の丘建設事業開始 (昭和42～43年度継続事業)		(大宮ソニックシティ大ホール)
11月	二子山古墳周堀復原調査	平成15年9月	稲荷山古墳鉄剣発見35周年記念講演会 (行田市教育文化センターみらい)
昭和43年8月	稲荷山古墳発掘調査		
11月	二子山古墳周堀復原	平成16年7月	入館者数累計500万人突破
昭和44年3月	さきたま資料館落成	平成18年3月	企画展示室改修工事竣工
10月	さきたま資料館開館	4月	行田県土整備事務所より古墳公園の委譲移管を受ける(23.5ha)
昭和45年3月	奥の山古墳周堀調査、復原		
昭和48年3月	民俗資料収蔵庫・ホール兼講堂落成	4月	さきたま史跡の博物館リニューアルオープン
11月	丸墓山古墳、稲荷山古墳周堀調査	平成19年2月	「日本の歴史公園100選」に選定される
昭和49年11月	天王山・梅塚古墳他周堀、二子山古墳外堀調査	3月	稲荷山古墳前方部復原整備終了 (平成12～18年度事業)
昭和50年2月	丸墓山古墳周堀復原		
昭和51年3月	稲荷山古墳出土品一括県文化財に指定	3月	史跡埼玉古墳群保存整備基本計画策定
4月	さきたま古墳公園第1期供用開始 (県道南側9.3ha)	3月	体験工房完成
8月	博物館法による博物館登録(8月2日)	4月	奥の山古墳周堀調査開始
11月	稲荷山古墳内堀復原	平成20年5月	行田県土整備事務所より公園用地拡張移管を受ける 同月供用開始(5.7ha)
昭和52年9月	礼宮文仁親王殿下、紀宮清子内親王殿下御来館	平成21年3月	本館全体改修及び耐震補強工事竣工
昭和53年5月	浩宮徳仁親王殿下御来館	10月	秋篠宮殿下、同妃殿下御来館
9月	稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘発見、公表	平成22年4月	鉄砲山古墳周堀調査開始
昭和55年9月	収蔵展示棟落成	平成23年7月	行田県土整備事務所より公園用地拡張移管を受ける 同月供用開始(5.5ha)
11月	収蔵展示棟開館、金錯銘鉄剣一般公開	平成24年5月	奥の山古墳周堀復原整備事業終了 (平成21～24年度事業)
12月	皇太子殿下・皇太子妃殿下行啓		
昭和56年6月	稲荷山古墳出土品一括重要文化財に指定	平成25年1月	二子山古墳内堀埋立工事開始
昭和58年4月	「北武蔵の農具」重要有形民俗文化財に指定	4月	行田県土整備事務所より公園用地拡張移管を受ける 同月供用開始(641㎡)
5月	天皇陛下行幸		
6月	稲荷山古墳出土品一括国宝に指定	9月	二子山古墳発掘調査開始
昭和59年3月	稲荷山古墳礎礎復原	平成26年3月	入館者累計600万人突破
昭和60年3月	稲荷山古墳保存整備事業終了 (昭和57～59年度事業)	平成27年3月	二子山古墳内堀埋立工事終了 (平成24～26年度事業)
昭和63年3月	丸墓山古墳保存整備事業終了 (昭和60～63年度事業)	平成29年3月	稲荷山古墳礎礎陶板整備事業終了 (平成26～28年度事業)
3月	行田市所有の古墳6基、県に譲与される	平成30年2月	将軍山古墳展示館改修工事竣工
平成3年9月	移築民家(山崎家)曳家整備完了	4月	営繕・公園事務所より公園用地拡張移管を受ける 同月供用開始(1,098㎡)
平成4年3月	瓦塚古墳保存整備事業終了 (昭和63年～平成3年度事業)	平成31年2月	埼玉古墳群史跡指定80周年・稲荷山古墳発掘調査50周年・鉄剣銘文発見40周年記念講演会 (埼玉会館)
平成6年3月	県内古墳詳細分布調査事業終了 (平成元～5年度事業)		
平成9年3月	将軍山古墳保存整備事業終了 (平成3～8年度事業)	3月	史跡埼玉古墳群保存活用計画策定
4月	将軍山古墳展示館開館	令和元年10月	営繕・公園事務所より公園用地拡張移管を受ける 同月供用開始(2.0ha)
		令和2年3月	特別史跡指定(3月10日付官報告示)

3 埼玉県立史跡の博物館の使命

県立史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国指定史跡「比企城館跡群 菅谷館跡」の保存と整備・活用を図ることにより、県民に快適な歴史空間を提供します。

また、埼玉の考古資料の収集保管・調査研究・展示公開・普及啓発等を行い、県民の多様な学習意欲に応え、心豊かな県民意識の醸成と新たな文化の創造に寄与する博物館です。

【さきたま史跡の博物館】

さきたま史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」及び国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」をはじめとする貴重な文化財を将来にわたって確実に保存、管理し、その活用を図ります。

また、埼玉の歴史を彩る数々の史跡や遺跡、また関係する資料の収集・保管・調査研究を進めることを基本的使命とします。

- (1) 埼玉古墳群の調査を進め、史跡整備を継続、推進するとともに、稲荷山古墳から出土した「金錯銘鉄剣」をはじめとする出土品を、安全に公開していきます。
- (2) 9基の古墳を中心とした39.6万㎡の古墳公園を、来園者の方々が安心して利用いただけるよう維持・管理し、いにしへのロマンを感じてもらえる快適な史跡空間として提供していきます。
- (3) 埼玉古墳群をはじめとする県内の史跡や遺跡、考古資料に関する総合的な博物館として、関係資料の収集、保管、調査、研究を進め、各市町村等と連携しながらその成果を企画展や講演会等で公開します。
- (4) 埼玉古墳群や館有資料などを、生涯学習や学校教育において広く活用する事業を積極的に展開します。
- (5) 史跡の博物館として、県内の史跡や遺跡の調査・保存・活用について、市町村等が実施する事業を支援します。

4 事業

当館は、目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 埼玉古墳群を中心にその周辺から出土した考古資料の保管・展示を行う。
- (2) 考古資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行い、報告書、図録等を刊行する。
- (3) 考古資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催する。
- (4) 埼玉古墳群の調査研究及び整備を行う。
- (5) さきたま古墳公園の管理を行う。
- (6) 埼玉古墳群や館有資料を、生涯学習や学校教育に活かす学習支援活動を行う。

5 組織

- (1) 組織表（職員19名、会計年度任用職員3名）



- (2) 職員名簿

館長	末木 啓介(兼)	(広報・学習支援担当、資料・展示担当、史跡整備担当)
副館長	小久保 達夫	主席学芸主幹 伴瀬 宗一
(総務・公園管理担当)		広報・学習支援担当 担当課長 小林 弘一
担当部長	野村 浩	担当課長 黒瀬 玲二
担当課長	金子 雅則(兼)	主 事 杉山 高志
担当課長	鈴木 文之	学芸員 篠崎 彩乃
主任	菊池 拓真	資料・展示担当 学芸主幹 野中 仁
主 事	浅見 将巳	主任学芸員 山田 琴子
会計年度任用職員	新井 敏夫	主任専門員兼学芸員 西口 正純
会計年度任用職員	青木 重二	学芸員 別所 鮎実
会計年度任用職員	益田 忠浩	史跡整備担当 学芸員 宮原 正樹(兼)
		学芸員 ナワビ 矢麻(兼)
		学芸員 田邊 えり

※(兼)は、嵐山史跡の博物館との兼務職員

6 特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員 (敬称略・50音順 令和3年4月現在)

石島 きく江 (行田市文化財保護審議委員)
井上 尚明 (立正大学文学部講師)
梶島 邦江 (元埼玉大学教授)
佐藤 信 (東京大学名誉教授)
園田 誠司 (元埼玉県行田県土整備事務所所長)

高久 健二 (専修大学教授)
滝沢 誠 (筑波大学准教授)
田中 裕 (茨城大学教授)
若狭 徹 (明治大学文学部准教授)

7 予算

(1) 令和3年度当初予算

ア 運営費関係 (千円)	
さきたま史跡の博物館管理費	44,916
さきたま古墳公園管理費	91,789
小計	136,705

イ 特定事業費関係 (千円)	
埼玉古墳保存整備事業 (国交付決定事業費)	14,420
小計	14,420

(2) 予算の推移

ア 建設費 (千円)			イ 整備費 (千円)		
年度	事業	予算	年度	事業	予算
昭和42~43	さきたま風土記の丘建設費 (園路造成、古墳整備、資料館建設、周堀復原、民家移築等)	83,670	平成17	企画展示室改装工事	69,738
			18	情報・体験学習室整備費	21,841
			19	移築民家屋根等改修工事	15,176
47	さきたま資料館増築費	50,000	20	本館全体改修及び耐震補強工事	170,207
54~55	さきたま資料館収蔵展示棟建設費	236,285	29	将軍山古墳展示館改修工事	28,640
平成5	さきたま資料館玄関ホール改修費	49,272			
5~8	将軍山古墳展示館建設費	98,450			

年度	事業	予算	年度	事業	予算
昭和44~53	さきたま古墳公園整備 (奥の山古墳周堀復原、丸墓山古墳周堀復原、稲荷山古墳内堀復原、公園整備)	205,178	平成24	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	23,320
53	稲荷山古墳出土品保存処理	3,070	25	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳報告書・二子山古墳整備工事・二子山古墳・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	29,642
54	金錯銘鉄剣恒久保存処理	3,126			
54~55	資料館整備費 (鉄剣等展示ケース製作及びディスプレイ)	61,289	26	埼玉古墳群保存整備 (稲荷山古墳礫榎模型製作・二子山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・補足調査)	26,769
	金錯銘鉄剣レプリカ製作	9,741			
54~58	さきたま古墳公園整備	192,443			
57~59	埼玉古墳群保存整備 (稲荷山古墳)	30,000	27	埼玉古墳群保存整備 (稲荷山古墳礫榎模型改修工事・鉄砲山古墳・二子山古墳発掘調査・補足調査)	23,622
60~62	埼玉古墳群保存整備 (丸墓山古墳)	30,000			
昭和63~平成3	埼玉古墳群保存整備 (瓦塚古墳)	41,104	28	埼玉古墳群保存整備 (稲荷山古墳礫榎模型改修工事・丸墓山古墳安全対策工事・鉄砲山古墳、二子山古墳発掘調査)	15,809
平成2	埼玉古墳群出土品複製 (馬冑復原、水鳥埴輪レプリカ)	4,180			
2~3	埼玉古墳群保存整備 (二子山古墳)	6,240	29	埼玉古墳群保存整備 (二子山古墳発掘調査・丸墓山古墳安全対策工事)	17,067
3	埼玉古墳群保存整備 (旧山崎家曳家整備)	10,273			
3~8	埼玉古墳群保存整備 (将軍山古墳)	290,727	30	埼玉古墳群保存整備 (二子山古墳発掘調査・奥の山古墳発掘調査・保存活用計画策定)	13,878
9~18	埼玉古墳群保存整備 (稲荷山古墳)	159,838			
19	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳)	13,800	令和元	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳整備工事・鉄砲山古墳整理作業)	11,736
20	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳・範囲確認調査)	23,406			
21	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳・周辺確認調査)	26,105	令和2	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳整備工事・二子山古墳整理作業)	10,772
22	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳・鉄砲山古墳周辺確認調査)	37,073			
23	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	43,577			

ウ 発掘調査・報告書刊行費

(千円)

年度	事業	予算	年度	事業	予算
昭和48	丸墓山古墳、稲荷山古墳周堀調査	3,163	平成8	将軍山古墳《史跡埼玉古墳群整備報告書》 「確認調査」編・付編及び「保存・整備 工事」編	3,246
49	天王山、梅塚古墳他周堀、二子山古墳外 堀調査	3,628			
54～56	稲荷山古墳発掘調査整理、報告書刊行、 辛亥銘鉄剣修理報告書刊行	15,270	18	稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告 書	1,650
54～57	埼玉古墳群発掘調査	24,046	25	奥の山古墳整備報告書・保存整備事業報 告書	1,528
58～59	さきたま風土記の丘発掘調査	14,000			
59	図録「北武蔵の農具」刊行	5,485	29	史跡埼玉古墳群総括報告書 I	1,128
60～63	さきたま風土記の丘発掘調査	30,000	30	稲荷山古墳礫櫛模型設置事業報告書	240
63	歴史の道調査	4,000	令和元	鉄砲山古墳発掘調査報告書	1,320
平成 元～5	古墳詳細分布調査	19,199			

エ 管理運営費

(千円)

年度	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
予算	75,203	74,703	97,211	98,790	90,308	110,192	104,032	103,941
年度	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
予算	111,671	110,555	110,937	112,422	116,110	120,193	132,122	136,705

8 施設・設備の概要

(1) さきたま史跡の博物館

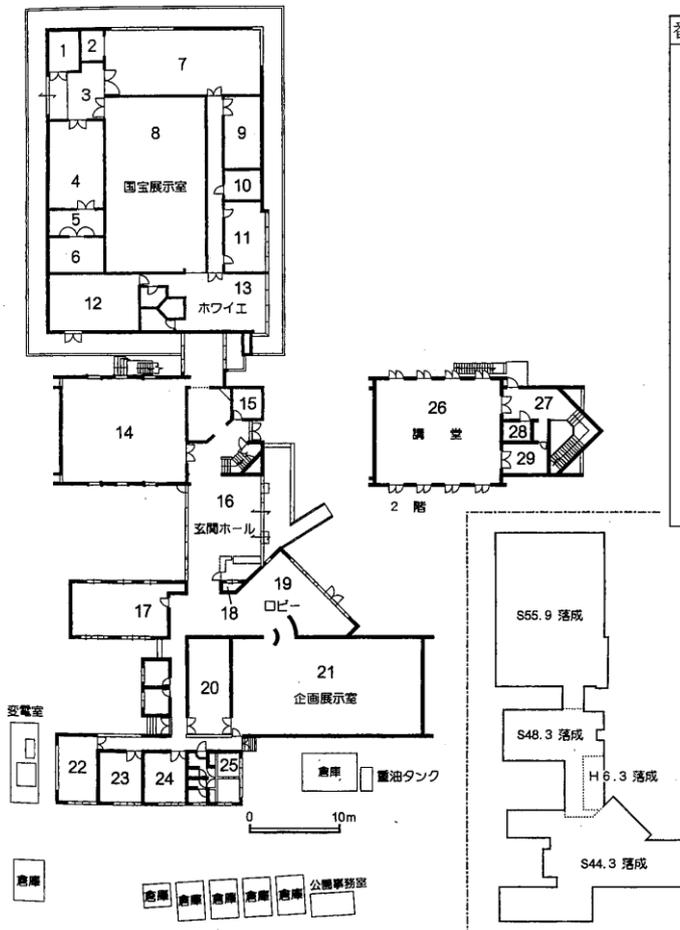
所在地 埼玉県行田市大字埼玉4834

敷地面積 39.6ha (古墳公園を含む)

建築面積 2,151.65㎡ (本・新館 1,776.54㎡ 移築民家 207.27㎡ 機械室・車庫等 167.84㎡)

延床面積 2,386.58㎡ (本・新館 2,011.47㎡ 移築民家 207.27㎡ 機械室・車庫等 167.84㎡)

構造 本・新館 鉄筋コンクリート造り 一部2階建て/移築

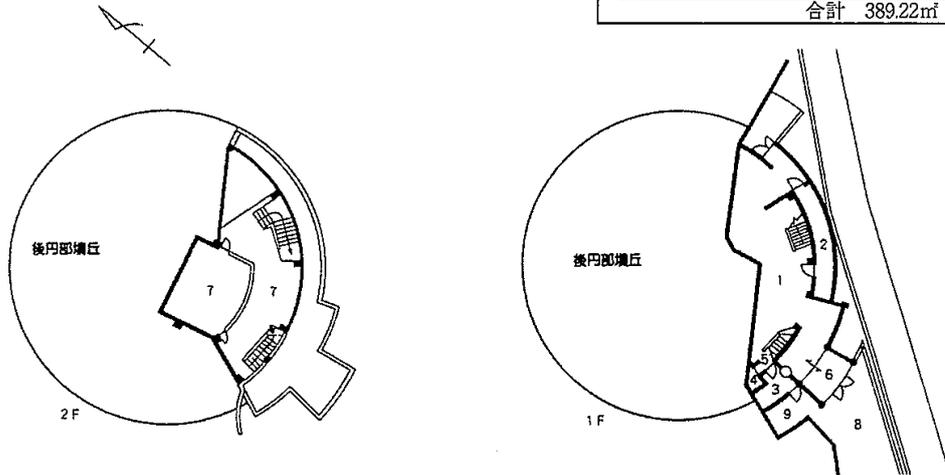


番号	室名	面積(㎡)	番号	室名	面積(㎡)
1	機械室 1	16.10	16	玄関ホール	96.02
2	倉庫 3	9.36	17	事務室	64.80
3	搬入荷解庫	34.32	18	資料庫	2.88
4	考古資料収蔵庫	64.66	19	ロビー	119.60
5	前室	13.42	20	文書庫	51.84
6	特別収蔵庫	25.62	21	企画展示室	224.64
7	学芸室	124.10	22	ミーティング室	32.04
8	国宝展示室	214.50	23	図書室 1	27.36
9	図書室 2	33.16	24	館長室	23.36
10	保管庫	15.12	25	管理室	34.20
11	会議室	36.71	26	講堂	155.25
12	機械室 2	63.05	27	2階ロビー	22.02
13	ホワイエ	92.16	28	倉庫 2	7.68
	その他 (新館計)	59.79 (802.07)	29	準備室	17.82
14	さきたま体験工房	155.25		その他 (本館計)	162.76 (1,209.40)
15	倉庫 1	11.88		合計	2,011.47

(2) 将軍山古墳展示館

所在地 埼玉県行田市大字埼玉159
 建築面積 210.24 m²
 延床面積 267.74 m²
 構造 鉄筋コンクリート造り2階建て

No.	室名	面積	
1	1F展示室	109.36m ²	148.35m ²
2	倉庫	16.88m ²	
3	事務室	8.28m ²	
4	トイレ	1.35m ²	
5	前室	2.18m ²	
6	風除室	10.30m ²	
7	2F展示室	74.47m ²	119.39m ²
	石室展示室	44.92m ²	
8	外構 ポーチ スロープ他	111.18m ²	121.48m ²
9	機械置場	10.30m ²	
		合計	389.22m ²



(3) 古墳公園内の主な施設

レストハウス・・・屋根付きのオープンスペースで、6人掛けテーブルが29脚と20脚の2か所がある。
 はにわの館・・・行田市の外郭団体である(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団が運営する施設で、「はにわづくり」の体験ができる。



9 さきたま風土記の丘

埼玉古墳群は、昭和 13 年 8 月 8 日に国の史跡に指定された。かつては小円墳等を含む古墳群であったが、明治から大正期の開墾によって小古墳の多くが失われ、指定範囲内には、現在 8 基の前方後円墳と 1 基の大型円墳が所在している。

昭和 41 年、埼玉県では、文化庁策定の「風土記の丘」建設構想に基づき、全国に先駆けて“ふるさと埼玉”のシンボルとして、埼玉古墳群を県直営の史跡公園「さきたま風土記の丘」とするため、建設計画を立て事業に着手した。さきたま風土記の丘建設計画は、用地買収・復原整備・環境整備・園路造成・資料館建設・展示資料整備を柱とするもので、県名発祥の地にふさわしい広域整備を目指したものであった。

昭和 53 年、稲荷山古墳から出土していた一振りの鉄剣から 115 文字の金錯銘文が発見され、学界のみならず国内外の注目を集めると、鉄剣を含む稲荷山古墳出土遺物は昭和 58 年に国宝に指定され、資料館を拡充して「国宝展示室」を新たに設置した。

その後、平成 9 年にはさらなる整備拡充を目指し、97 ヘクタールの都市計画決定を行った。拡張区域については、順次整備を進め、令和 2 年度末現在で、39.6 ヘクタール（特別史跡指定面積は 277,295.5 m²）が公園として整備され供用されている。

なお、従来は古墳部分については県教育委員会、その他の部分は県北部公園事務所（後に事務所の廃止に伴い、県行田県土整備事務所）が管理を担っていたが、平成 18 年度からは公園部分の維持管理が県都市整備部から県教育委員会に移管となり、古墳群を含めた公園全体の管理を当館で行っている。

10 令和 2 年度事業報告 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業がある）

（1）展示事業

ア 常設展示

（a）国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群と周辺地域の出土品の展示のほか、埼玉県の古墳文化を理解する上で必要な関係資料を展示した。

（b）将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪（復原模型）を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物（復原模型）を展示して、埋葬当時の様子を再現した。

イ 企画展示

（a）テーマ展「埼玉の中・近世～発掘された道沿いの風景～」

期間：6 月 2 日（火）～6 月 28 日（日） 22 日：2,312 人

内容：鎌倉街道上道と日光道中を中心にその周辺遺跡を県教育委員会が所蔵する出土資料から紹介した。

（b）ミニ展示「埼玉古墳群の円筒埴輪」

期間：7 月 28 日（火）～8 月 30 日（日） 30 日：5,624 人

内容：企画展示室を区画し、展示ケース 2 台で埼玉古墳群の各古墳から出土した円筒埴輪を紹介した。

（c）企画展「盾持人埴輪の世界」

期間：9 月 12 日（土）～11 月 23 日（月・祝） 65 日：18,332 人

内容：形象埴輪の一つ、盾持人埴輪を取り上げ、埼玉県内出土資料の集成と県外資料を紹介し、その特質を考察した。

（d）最新出土品展「地中からのメッセージ」

（埼玉考古学会及び（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業）

期間：12 月 12 日（土）～令和 3 年 2 月 7 日（日） 10 日：1,417 人（12 月 24 日から臨時休館）

内容：県内で令和元年度に発掘調査及び整理された遺跡と、新たに国指定史跡に指定された遺跡の主な出土資料を中心に展示を行った。

（e）ほるとま展 2020「発掘 発見！日光道中 よみがえる栗橋宿」

期間：令和 3 年 3 月 23 日（火）～3 月 31 日（水） 8 日：1,685 人

内容：埼玉県埋蔵文化財調査事業団による長年の遺跡の発掘調査によって蓄積された貴重な資料や新しい発見の展示を行った。

（f）特別公開「鉄砲山古墳」

期間：9 月 8 日（火）～11 月 29 日（日） 75 日：19,910 人

内容：埼玉古墳群の一つ鉄砲山古墳の最新の調査成果を国宝展示室で公開した。

ウ ギャラリー展示（パネル展示）

(a) 記念物 100 年

期間：4月1日（水）～9月13日（日）※～5月31日まで臨時休館

内容：記念物保護制度の仕組みや、埼玉古墳群など記念物保護の取組について紹介した。

(b) 企画展関連「嗚呼、素晴らしき盾持人埴輪」

期間：9月15日（火）～11月23日（月・祝）

内容：企画展に関連して、全国から出土した盾持人埴輪について、写真パネルで紹介した。

(c) 丸墓山古墳と石田堤

期間：11月24日（火）～令和3年3月7日（日）※12月24日～3月21日まで臨時休館

内容：石田三成が忍城水攻めに際し構築した堤や陣を張った丸墓山などを紹介した。

(d) 煌めく刀の柄頭

期間：3月9日（火）～3月31日（水）

内容：埼玉県を含む14県で組織する歴史文化協議会で集めた古墳時代の出土刀剣類のうち、刀の柄頭の優品を紹介した。

(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行った。特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行った。

その成果として紀要第14号を刊行した。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集した。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、隔月で収蔵庫・展示室等の有害生物管理及び資料点検等を行った。また、下記の期間に館内で有害生物防除を行った。

実施期間：6月16日（火）～17日（水）

(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

埼玉古墳群の保存と整備に関して、特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会を開催した。

奥の山古墳の整備工事、二子山古墳の出土品整理作業を行った。

イ 鉄砲山古墳発掘調査報告書刊行記念シンポジウム

（千葉県立房総のむら風土記の丘資料館：白井久美子、埼玉県埋蔵文化財調査事業団：青木弘、鴻巣市：高田大輔、駒沢大学：藤野一之、当館職員：山田琴子）・・・11月15日（日）（195名）

(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験（親子向け）

「まが玉づくり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・通年（1,857人）

「古代人に変身」・・・・・・・・4月4日（土）・5月6日（水）・31日（日）・9月20日（日）・3月21日（日）（中止）

「火おこしに挑戦」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5月2日（土）・10月4日（日）（中止）

イ さきたま古代体験（夏休み子供体験）

「縄文土器をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月21日（火）（中止）

「土偶をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月22日（水）（中止）

「ミニ埴輪をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月28日（火）（中止）

「動物埴輪をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12月12日（土）・13日（日）（中止）

ウ 自由研究相談窓口「調べてわかる埼玉古墳群」

7月21日（火）～8月30日（日）（HPでのダウンロードを含む）37日（1,586人）

エ 古墳群ガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4月2日（木）・9月19日（土）・3月28日（日）（中止）

オ 古墳キッズガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4月29日（水）・5月5日（火）（中止）

カ 企画展ガイドツアー・・・7月5日（日）・19日（日）・24日（金）・8月9日（日）・23日（日）・9月6日（日）
20日（日）・10月4日（日）・18日（日）・11月1日（日）・22日（日）（中止）

キ 出土品展ガイドツアー・・・12月13日（日）・27日（日）・1月10日（日）・24日（日）2月7日（日）（中止）

- ク テーマ展ガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・ 4月26日(日)・5月31日(日) (中止)
- ケ 古典の日記念事業 古墳群ガイドツアー「万葉歌碑を巡る」・・・・・・・・・・10月31日(土) (中止)
- コ さきたま講座
- 6月 6日(土) 考古学講座①「初心者向け講座 特別史跡埼玉古墳群を知る」
ナワビ 矢麻(当館職員) (中止)
- 7月 11日(土) 考古学講座②「埼玉古墳群の副葬品と東アジア(仮)」
内山 敏行氏(栃木未来づくり財団埋蔵文化財センター) (中止)
- 10月 10日(土) 企画展関連講座①「盾持人埴輪の地域性」
青笹 基史(当館職員) (29人)
- 12月 19日(土) 考古学講座③「国史跡の魅力に迫る ～水辺と森に育まれた縄文のムラ 神明貝塚～」
中野 達也氏(春日部市教育委員会 文化財保護課課長) (35人)
- 1月 16日(土) 考古学講座④「国指定遺跡 午王山遺跡について」
鈴木 一郎氏(和光市教育委員会生涯学習課 課長補佐兼文化財保護担当統括主査) (中止)
- 2月 27日(土) 考古学講座⑤「縄文時代の石器について」
入江 直毅氏(公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 主事)
- ※ R3.3月20日(土)に動画撮影 R3.3月24日からR3.4月7日までYouTubeで期間限定公開
- 3月 20日(土) 考古学講座⑥「出土木製品からみた栗橋宿の暮らし」
矢部 瞳氏(公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 整理第一課主任)
- ※ R3.4月20日(火)に動画撮影 R3.4月24日からR3.5月9日までYouTubeで期間限定公開
- サ さきたま子供講座「学芸員のお仕事 キミも古墳博士」・・・・・・・・7月18日(土)・1月16日(土) (中止)
- シ 中高生のための考古学講座・・・・・・・・・・・・・・・・8月1日(土) (中止)
- ス 連携事業
- 9月 12日(土) 世界遺産関連講座「埼玉古墳群と古墳時代社会ー石製遺物から考える日本列島の西と東ー」
清喜 裕二氏(宮内庁書陵部陵墓課) (31人)
- セ 県民の日記念行事 さきたま古墳フェス2020・・・・・・・・・・11月14日(土)・15(日)
- ソ 出前授業
- 「なるほど!古墳時代」・・・・・・・・8月6日(木)・27日(木)・9月1日(火)・2日(水)・3日(木)・4日(金)・
8日(火)・9日(水)・16日(水)・18日(金)・25日(金)・29日(火)・30日(水) (18校・801人)
- 「まが玉づくり」・・・・・・・・・・10月 6日(火) (1校・14人)
- タ その他のアウトリーチ事業
- 総合教育センター一般公開外部機関展示・・・・・・・・・・・・ (44人)
- ※ 総合教育センター内での展示ではなくホームページ上での資料公開
- チ 実習・研修会・報告会・見学会
- 埼玉県中学校教員5年経験者研修・・・・・・・・・・・・・・・・9月17日(木) (中止)
- 博物館実習・・・・・・・・・・8月18日(火)～21日(金)・25日(火)～27日(木) (7人)
- 遺跡発掘調査報告会・・・・・・・・・・・・・・・・1月17日(日) (中止)
- 教員のための博物館の日・・・・・・・・・・ホームページ上での資料の公開 (481人)
- 大学生社会体験活動・・・・・・・・・・10月13日(火)～15日(木) (3人)
- 県政出前講座・・・・・・・・・・6月23日(火)・7月19日(日)・9月24日(木)・10月16日(金)・23日(金)
3月17日(水) (184人)

ツ 資料の貸出、利用など

利用者 \ 利用方法	資料 貸出	フィルム 貸出	撮影	写真等 の転載	熟覧 その他	合計 (件数)
合計(件数)	54	225	24	0	22	325

(6) オリパラおもてなしミュージアム・・・・企画展「盾持人埴輪の世界」

ア 質が高く魅力的な企画展の開催

オリンピック・パラリンピックの開催時期とあわせて、関西地方や関東近県など各地の優品・名品も加えた、盾持人埴輪に関する一段とグレードアップした企画展を開催した。

11 令和3年度事業計画 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または期間・内容等が変更となる事業がある)

埼玉古墳群、関連資料及び県内の考古資料の展示などを行い、利用者の郷土埼玉に対する一層の理解を深めると共に、古墳群の歴史的意義の解明と特別史跡「埼玉古墳群」の保存と活用に努める。

(1) 展示事業

ア 常設展示

(a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群とその周辺の出土品の展示のほか、埼玉県
の古墳文化を理解する上で必要な収蔵品等の関係資料を展示する。

・スポット展示「愛宕山古墳」

期間：11月9日（火）～令和4年3月13日（日）

内容：埼玉古墳群の一つ愛宕山古墳の過去の調査成果と出土資料を公開する。

(b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪（復原模型）を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館
内の横穴式石室内部に出土遺物（復原模型）を展示して、埋葬当時の様子を再現する。

イ 企画展示

(a) ほるとま展 2020「発掘 発見！日光道中 よみがえる栗橋宿」

期間：令和3年4月1日（木）～5月9日（日）

内容：埼玉県埋蔵文化財調査事業団による長年の遺跡の発掘調査によって蓄積された貴重な資料や新しい
発見の展示を行う。

(b) 企画展「運ぶー埼玉古墳群とモノの動きー」

期間：7月10日（土）～9月12日（日）

内容：埼玉古墳群に運ばれてきたモノや埼玉古墳群周辺から遠方に運ばれたモノを通して、河川を利用した
モノの動きとその背景を考える。

(c) 最新出土品展「地中からのメッセージ」

（埼玉考古学会及び（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業）

期間：10月9日（土）～11月21日（日）

内容：県内で令和2年度に発掘調査・整理された遺跡で、特に注目されたものを選んで展示を行う。

(d) ほるとま展 2021

（（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業）

期間：12月11日（土）～令和4年2月6日（日）

内容：県内の遺跡から出土した遺物の中からテーマに沿って主な遺物を紹介する。

(e) テーマ展「埼玉の遺跡「新屋敷遺跡」

期間：令和4年2月26日（土）～3月31日（木）

内容：県内の主要遺跡について紹介する展示で、鴻巣市の新屋敷遺跡を取り上げる。

ウ ギャラリー展示（パネル展示）

埼玉古墳群の調査成果や企画展等に関連した内容について紹介する。

(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行う。特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明ら
かにするための調査研究を行う。

紀要第15号を刊行する。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集する。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、隔月で収蔵庫・展示室等の有害生物管理及び
資料点検を行う。また、下記の期間で有害生物防除を行う。

実施期間：6月15日（火）～16日（水）

(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

特別史跡埼玉古墳群保存整備協議会を開催する。

埼玉古墳群 新整備基本計画の策定を行う。

奥の山古墳の整備工事を行う。

愛宕山古墳の発掘調査及び、平成 25 年度から 30 年度に実施した二子山古墳発掘調査の整理作業を行う。

(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験（親子向け）

「古代人に変身」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5月 5日(水)・10月 23日(土)・3月 12日(土)

「火おこしに挑戦」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11月 14日(日)

イ 子供製作体験

「金錯銘鉄剣について知ろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6月 26日(土)

「埴輪を作ろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月 23日(金)

「古墳ペーパークラフトを作ろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2月 12日(土)

ウ 埼玉古墳群ガイドツアー（スペシャル古墳群ガイドツアーも含む）・・・ 5月 2日（日）・3月 26日（土）

エ 企画展ガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月 11日（日）・8月 8日（日）・9月 12日（日）

オ 最新出土品展ガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10月 10日（日）・11月 21日（日）

カ 古典の日記念事業 さきたま古墳群ガイドツアー「万葉歌碑を巡る」・・・・・・・・・・ 10月 30日（土）

キ 史跡探訪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11月 27日（土）

ク ほるとま展ガイドツアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12月 12日（日）・1月 16日（日）・2月 6日（日）

ケ さきたま講座

4月 24日（土） ほるとま展2020関連講座「出土木製品からみた栗橋宿の暮らし」

矢部 瞳 氏（公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 整理第一課主任）

※ R3.4月20日（火）に動画撮影 R3.4月24日からR3.5月9日までYouTubeで期間限定公開

7月 3日（土） 考古学講座①「埼玉古墳群入門」 田邊 えり（当館職員）

7月 31日（土） 企画展関連講座「埼玉古墳群と河川」 山田 琴子（当館職員）

10月 9日（土） 出土品展関連講座①「（演題未定）」 別所 鮎実（当館職員）

11月 13日（土） 出土品展関連講座②「（演題未定）」 出品教育委員会職員

12月 18日（土） ほるとま展2021関連講座「（演題未定）」

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団職員

1月 15日（土） 考古学講座②「（内容未定）」 講師未定

2月 26日（土） テーマ展関連講座①「新屋敷遺跡（仮題）」 西口 正純（当館職員）

3月 19日（土） テーマ展関連講座②「新屋敷遺跡と埼玉古墳群（仮題）」 講師未定

コ 特別講演 9月11日（土） シンポジウム「埼玉古墳群とモノの動き」 講師未定

サ さきたま子供講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月 17日（土）・1月 22日（土）

シ 中高生のための考古学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8月 7日（土）

ス 連携事業

5月29日（土） 世界遺産関連講座「埼玉二子山古墳と七輿山古墳—六世紀前半の東国史—」

若狭 徹氏（明治大学文学部准教授）

セ 実習・研修会・報告会・見学会

○博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月20日(火)～23日(金)、27日(火)～29日(木)

○教員のための博物館の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8月 3日(火)～6日(金)

○埼玉県小学校中堅教員等資質向上研修（社会科）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8月26日(木)

○埼玉県中学校教員5年経験者研修（社会科）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9月16日(木)

○遺跡発掘調査報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 未 定

ソ 県民の日記念行事

さきたま古墳フェス2021・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11月 14日（日）

タ 出前授業

(a) 古墳時代に関する授業「なるほど！古墳時代」

行田市及び近隣市の小学校第6学年を対象に、実物の埴輪等を用い興味・関心を高め、古墳時代についての理解を深めることのできる授業を実施する。

(b) まが玉づくり体験授業

行田市及び近隣市の小学校を対象に、まが玉づくりの体験授業を実施する。

チ その他のアウトリーチ事業

総合教育センター一般公開外部機関展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10月16日（土）

ツ さきたま体験工房

- (a) 「まが玉づくり（通年）」などの「体験コーナー」、図書・タブレットを使った考古学・文化財などの学習ができる「さきたま情報コーナー」などを活用した事業を実施する。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況に応じて実施方法変更あり）

- (b) 自由研究相談窓口「調べてわかる埼玉古墳群」（7月17日（土）～8月29日（日））

展示や埼玉古墳群を夏休みの自由研究に活かす手伝いとなる相談を受け付ける。

ツ 各種印刷物の刊行

『埼玉県立史跡の博物館紀要』第15号の刊行を行う。

令和4年度催物案内の作成を行う。

講座・講演会・体験学習等のテキスト作成を行う。

(6) ボランティアの育成

体験学習や講座等の運営、国宝展示室の解説、環境整備などの支援能力を高めるためにボランティア研修や意見交換会を実施し、積極的なボランティアの活用を図る。

(7) 関係団体との連携等

ア 埼玉県博物館連絡協議会への加盟

イ 関東地区博物館協会への加盟

ウ 日本博物館協会への加盟

エ 県政出前講座の受け入れ

オ 全国風土記の丘協議会への加盟

カ その他関係団体・民間企業との連携

(8) 管理運営事業

ア 博物館施設の充実

古墳群の環境整備、博物館の整備・充実を進め、博物館、將軍山古墳展示館及び移築民家の積極的な活用を行う。

イ 開館予定日程

・臨時休館 6月15日（火）・16日（水） ・臨時開館 8月16日（月）・11月1日（月）

ウ 公園施設の維持・管理

公園施設の適正な維持・管理を行うとともに、安全で安心な公園環境づくりに努め、県民に快適な歴史空間の場を提供する。

(9) 主体的・対話的で深い学びを実現する学校教育との連携強化

ア 主体的・対話的で深い学びを実現する出前授業の実施

児童生徒の学習意欲を高める教材提示の工夫や児童生徒が対話によって思考を深める問題解決場面を設定した授業を実施する。

イ 児童生徒の思考を促す博学連携教材の開発

さきたま史跡の博物館ならではの教材を開発し、授業での利用の方法とともに県内小中学校に提案する。

(10) 地域教育機関・民間とのネットワークによる事業展開

ア 地域の教育機関との連携事業

県立総合教育センターや近隣市町村の社会教育施設、地元民間団体と連携し、研修や講座などの連携事業を展開する。

イ 地域の民間団体との連携事業

11月14日のさきたま古墳フェス2021を中心に、地域の民間NPO団体等と協力し、埼玉古墳群の一層のアピールを行うとともに地域との連携を強化する。

ウ 高校生・大学生ボランティアの受入

教育普及事業を中心に高校生・大学生ボランティアを積極的に受け入れ、活躍の場を提供するとともに、当館事業を一層充実させる。

12 入館者数等

(1) 令和2年度の状況

月別入館者数一覧

月	開館日数	本館有料入館者数						小計	共通券入館者	無料入館者	入館者総計
		個人		団体		年間券売上数					
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等				
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	23	1,678	49	55	1	1	0	1,784	15	739	2,538
7	27	2,501	45	64	0	1	0	2,611	38	1,136	3,785
8	27	3,008	143	53	1	0	0	3,205	163	1,967	5,335
9	27	2,999	114	51	4	4	0	3,172	1,925	3,020	8,117
10	27	3,829	102	174	0	5	0	4,110	3,448	4,642	12,200
11	27	3,538	92	220	2	1	0	3,853	4,292	5,918	14,063
12	20	1,042	44	41	0	4	0	1,131	1,005	2,116	4,252
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	8	1,301	45	15	0	5	0	1,366	1,272	754	3,392
計	186	19,896	634	673	8	21	0	21,232	12,158	20,292	53,682

小・中学校団体見学数地域別一覧

地域	小学校		中学校	
	学校数	人数	学校数	人数
さいたま市	0	0	1	10
南部	6	636	1	6
西部	11	336	0	0
北部	4	185	0	0
東部	15	907	1	10
県内計	36	2,064	3	26
東京都	40	2,390	1	59
神奈川県	8	688	0	0
千葉県	0	0	1	18
静岡県	6	678	0	0
県外計	54	3,756	2	77
合計	90	5,820	5	103

月別無料入館者数内訳

月	小学生	中学生	その他	計
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	289	49	401	739
7	521	62	553	1,136
8	1,153	196	618	1,967
9	2,145	108	767	3,020
10	3,384	132	1,126	4,642
11	4,306	260	1,352	5,918
12	1,645	29	442	2,116
1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	388	73	293	754
合計	13,831	909	5,552	20,292

(2) 年度別入館者数内訳

年度	開館	個人		団体		小計	共通券 入館者	無料 入館者	入館者 総計
	日数	一般	学生等	一般	学生等				
昭和44	120	3,660	2,837	2,499	962	9,958	0	8,853	18,811
45	295	9,759	5,975	3,881	1,604	21,219	0	21,907	43,126
46	297	9,220	5,774	4,610	3,637	23,241	0	27,949	51,190
47	296	10,862	5,930	5,466	3,897	26,155	0	38,372	64,527
48	294	11,771	7,071	4,440	3,372	26,654	0	45,698	72,352
49	292	13,418	7,152	5,830	4,771	31,171	0	56,347	87,518
50	295	12,254	6,354	4,755	3,733	27,096	0	54,842	81,938
51	294	13,196	6,839	4,905	4,294	29,234	0	57,020	86,254
52	294	16,152	8,016	6,088	4,953	35,209	0	74,277	109,486
53	296	42,657	16,236	13,644	6,770	79,307	0	99,729	179,036
54	288	46,589	18,566	19,944	11,319	96,418	0	107,636	204,054
55	284	50,916	19,733	15,556	8,629	94,834	0	89,025	183,859
56	281	49,050	17,611	18,348	9,869	94,878	0	110,371	205,249
57	291	45,052	17,537	15,191	10,685	88,465	0	112,165	200,630
58	292	45,352	17,487	15,083	5,793	83,715	0	126,704	210,419
59	293	41,648	16,251	12,643	5,021	75,563	0	122,557	198,120
60	294	42,416	16,619	11,086	3,808	73,929	0	105,125	179,054
61	293	45,705	17,330	10,860	3,864	77,759	0	106,308	184,067
62	295	44,059	15,650	11,528	2,967	74,204	0	99,920	174,124
63	290	42,593	14,097	13,851	4,199	74,740	0	87,847	162,587
平成元	291	45,506	14,302	9,093	2,485	71,386	0	94,920	166,306
2	293	46,744	13,726	9,190	2,047	71,707	0	93,298	165,005
3	293	46,693	12,760	7,294	1,554	68,301	0	97,334	165,635
4	292	45,060	12,042	8,763	1,214	67,079	0	90,342	157,421
5	291	41,463	10,967	5,091	956	58,477	0	86,141	144,618
6	291	35,379	8,862	3,578	803	48,622	0	87,144	135,766
7	294	33,062	1,655	3,097	437	38,251	0	102,377	140,628
8	293	33,462	1,869	2,336	178	37,845	0	114,978	152,823
9	294	43,637	1,842	2,153	316	47,948	18,671	149,682	216,301
10	293	34,378	1,558	2,631	165	38,732	15,134	113,405	167,271
11	293	29,992	1,314	2,035	250	33,591	13,594	104,683	151,868
12	296	26,173	1,199	2,279	142	29,793	12,085	90,284	132,162
13	298	26,449	1,292	2,341	99	30,181	13,081	84,215	127,477
14	298	25,928	1,083	1,758	205	28,974	12,698	73,800	115,472
15	297	27,915	1,169	1,858	41	30,983	12,236	75,653	118,872
16	298	23,123	1,007	1,346	41	25,517	10,993	62,250	98,760
17	301	23,415	862	1,184	127	25,588	12,060	64,604	102,252
18	312	22,633	1,213	1,795	51	25,692	11,774	67,539	105,005
19	316	20,496	991	1,364	16	22,867	10,204	66,966	100,037
20	313	27,866	1,004	1,272	196	30,338	15,670	65,347	111,355
21	314	26,577	1,005	1,330	96	29,008	14,253	68,570	111,831
22	311	23,323	1,008	2,931	26	27,288	12,256	61,923	101,467
23	313	21,247	885	3,693	162	25,987	11,919	54,037	91,943
24	314	25,161	1,068	3,362	107	29,698	14,716	69,276	113,690
25	313	29,544	987	7,246	87	37,864	18,587	54,554	111,005
26	314	31,837	1,212	7,953	81	41,083	21,158	51,476	113,717
27	313	33,129	1,228	7,680	154	42,191	22,159	50,937	115,287
28	313	34,170	1,160	8,136	74	43,540	23,702	55,128	122,370
29	313	31,139	1,064	7,327	81	39,611	18,921	49,081	107,613
30	315	29,942	979	6,365	93	37,379	24,045	49,019	110,443
令和元	287	29,523	889	8,270	115	38,797	23,901	45,104	107,802
2	186	19,917	634	673	8	21,232	12,158	20,292	53,682
累計		1,591,212	345,901	335,632	116,554	2,389,299	375,975	3,967,011	6,732,285

13 展示解説・ボランティア活動等

(1) 令和2年度の状況

一般団体解説

月	団体数	人数
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
計	0	0

レファレンス件数

月	件数
4	0
5	9
6	23
7	19
8	26
9	14
10	47
11	26
12	12
1	4
2	3
3	5
計	188

ボランティア活動

月	人数
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	42
11	49
12	23
1	0
2	0
3	0
計	114

学校団体解説

月	団体数	人数
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
計	0	0

工房利用者（勾玉づくり）

月	工房利用者数	勾玉(学校)	勾玉(一般)	勾玉づくり計
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	403	63	0	63
7	631	83	106	189
8	1,122	23	446	469
9	648	0	209	209
10	577	159	139	298
11	982	192	154	346
12	373	251	32	283
1	1	0	0	0
2	2	0	0	0
3	63	0	0	0
計	4,802	771	1,086	1,857

14 関係刊行物

「資料館報」No. 1 (昭和 45 年) ~No. 36 (平成 17 年)	
「調査研究報告」第 1 号 (昭和 63 年) ~第 19 号 (平成 17 年)	
「さきたま古墳群とその周辺」	(昭和 51 年 3 月)
「さきたま民俗暦」	(昭和 52 年 3 月)
「稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘概報」	(昭和 54 年 2 月)
「八幡山古墳石室復原報告書」	(昭和 55 年 3 月)
「埼玉稲荷山古墳」	(昭和 55 年 11 月)
「埼玉稲荷山古墳辛亥銘鉄剣修理報告書」	(昭和 57 年 3 月)
「北武蔵の農具」	(昭和 60 年 1 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第二集 鉄砲山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第三集 愛宕山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「史跡埼玉古墳群保存修理事業報告書 稲荷山古墳」	(昭和 60 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第四集 瓦塚古墳」	(昭和 61 年 3 月)
展示ガイド「さきたま古墳群と北武蔵の農具」	(昭和 61 年 3 月)
絵はがき「稲荷山古墳」	(昭和 61 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第七集 荒川の水運」	(昭和 62 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第八集 新河岸川の水運」	(昭和 62 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第五集 二子山古墳」	(昭和 62 年 3 月)
「歴史の道 調査報告書第九集 入間川の水運」	(昭和 63 年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第六集 丸墓山古墳・埼玉 1~7 号墳・将軍山古墳」	(昭和 63 年 3 月)
88 さいたま博覧会協賛特別展図録 「はにわ人の世界」	(昭和 63 年 3 月)
第 4 回国民文化祭 さいたま 89 協賛特別展図録「さきたま古墳群とその時代」	(平成元年 10 月)
「歴史の道 調査報告書第十集 利根川の水運」	(平成元年 3 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第七集 奥の山古墳・瓦塚古墳・中の山古墳」	(平成元年 3 月)
第 1 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「古墳の年代をはかる 一須恵器一」	(平成 2 年 10 月)
第 2 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「くらしの中の神々」	(平成 3 年 10 月)
「埼玉古墳群発掘調査報告書第八集 二子山古墳・瓦塚古墳」	(平成 4 年 3 月)
展示ガイド 「さきたまの古墳」	(平成 4 年 3 月)
第 3 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「さきたま将軍山古墳と銅鏡」	(平成 4 年 10 月)
彩の国元年 さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「キツネは踊る〜お米がたくさんとれますように〜」	(平成 5 年 9 月)
「埼玉県古墳詳細分布調査報告書」	(平成 6 年 3 月)
展示ガイド「さきたまの古墳と民俗」	(平成 7 年 3 月)
将軍山古墳 《史跡埼玉古墳群整備事業報告書》 「確認調査編・付編」及び「保存・整備工事編」	(平成 9 年 3 月)
将軍山古墳整備事業完成記念企画展図録 「古墳時代の馬の装い 一さきたまに馬がやってきた!一」	(平成 9 年 10 月)
ガイドブック「さきたま」	(平成 10 年 3 月)
稲荷山古墳発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業特別展 図録「古代金石文と倭の五王の時代」	(平成 10 年 10 月)
稲荷山古墳発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業特別展 シンポジウム資料「ここまでわかった!稲荷山古墳」	(平成 10 年 11 月)
特別展図録「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成 19 年 1 月)
武蔵埼玉稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	(平成 19 年 3 月)
史跡埼玉古墳群保存整備基本計画	(平成 19 年 3 月)

図録「「稲荷山」出現以前の古墳」	(平成 22 年 3 月)
図録「祈りとまじないの考古学」	(平成 22 年 10 月)
図録「スローフードの考古学 ～生活を支えた食と生業～」	(平成 23 年 10 月)
図録「原始・古代の職人集団」	(平成 24 年 9 月)
図録「古代の豪族～将軍山古墳とその時代～」	(平成 25 年 9 月)
「シンポジウム 埼玉古墳群の謎～東国をおさめた古代豪族～」資料集	(平成 26 年 1 月)
「史跡埼玉古墳群奥の山古墳発掘調査・保存整備事業報告書」	(平成 26 年 3 月)
図録「ハニワの世界」	(平成 26 年 9 月)
図録「古墳の終焉と律令時代の幕開け」	(平成 27 年 9 月)
図録「埼玉の古墳 1 ー比企・入間ー」	(平成 28 年 9 月)
図録「埼玉の古墳 2 ー秩父・児玉・大里ー」	(平成 29 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 総括報告書 I」	(平成 30 年 1 月)
図録「埼玉の古墳 3 ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」	(平成 30 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 稲荷山古墳礫櫛模型設置事業報告書」	(平成 31 年 1 月)
記念講演会「さきたま あれから これから」資料集	(平成 31 年 2 月)
史跡埼玉古墳群保存活用計画	(平成 31 年 3 月)
図録「徹底解剖！埼玉古墳群」	(令和元年 9 月)
「特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書」	(令和 2 年 3 月)
「特別史跡指定記念式典・シンポジウム 埼玉古墳群 史跡から特別史跡へ」資料集	(令和 2 年 3 月)
指定記念限定ガイドブック「特別史跡埼玉古墳群」	(令和 2 年 3 月)
報告書刊行記念シンポジウム「鉄砲山古墳を掘る」資料集	(令和 2 年 11 月)
「特別史跡 埼玉古墳群ガイドブック」	(令和 3 年 2 月)
「館報」No.1 (平成 18 年)～No.15 (令和 2 年)	
「埼玉県立史跡の博物館紀要」創刊号 (平成 18 年)～第 14 号 (令和 3 年)	

15 企画展等

企画展「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成 18 年度)
最新出土品展、企画展「考古学で学ぶ動物とのかかわり」	(平成 19 年度)
最新出土品展、企画展「古墳時代の優品」	(平成 20 年度)
最新出土品展、企画展「稲荷山出現以前の古墳」	(平成 21 年度)
最新出土品展、企画展「祈りとまじないの考古学」、テーマ展「さきたまのハニワたち」	(平成 22 年度)
最新出土品展、企画展「スローフードの考古学」、テーマ展「埼玉・あの遺跡この遺跡」	(平成 23 年度)
最新出土品展、企画展「原始古代の職人集団」、テーマ展「埼玉の原始・古代」	(平成 24 年度)
最新出土品展、企画展「古代の豪族」、テーマ展「形と文様」	(平成 25 年度)
最新出土品展、企画展「ハニワの世界」、テーマ展「縄文の不思議な世界」	(平成 26 年度)
最新出土品展、企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」、 新収蔵品展「～旧長瀬総合博物館からの寄贈資料～」	(平成 27 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 1 ー比企・入間ー」、 テーマ展「弥生の空間 ー実りと祈りー」	(平成 28 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 2 ー秩父・児玉・大里ー」、 テーマ展「律令国家がやってきた！」	(平成 29 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 3 ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」、 テーマ展「埼玉の平安ー兵の目覚めー」	(平成 30 年度)
最新出土品展、企画展「徹底解剖！埼玉古墳群」、 テーマ展「埼玉の中・近世ー発掘された道沿いの風景ー」	(令和元年度)
最新出土品展、企画展「盾持人埴輪の世界」	(令和 2 年度)

16 利用案内

(1) 博物館関係

ア 開館時間

(7) 下記以外は、午前9時～午後4時30分。(入館受付は、午後4時まで。)

(4) 7月1日～8月31日は、午前9時～午後5時。(入館受付は、午後4時30分まで。)

イ 休館日

(7) 月曜日(その日が国民の祝日、振替休日、県民の日又は4月29日～5月5日である場合を除く。)

(4) 年末年始(12月29日～1月3日)

ウ 観覧料等

(7) 観覧料(本館及び将軍山古墳展示館共通)

区 分	個 人	団体(20人以上)	年間観覧券
一般	200円	1人につき120円	1,200円
学生・生徒(高校生)	100円	1人につき60円	600円

※ 義務教育終了前の方は、無料です。

※ 身体障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者(障害者1人につき1人)は、無料です。

※ 教育課程に基づく学習活動として観覧(幼稚園、保育所を含む。)する学生・生徒・引率者及び下見見学者は、無料です。

※ 調査を目的として観覧する方及び研修会の引率者は、無料です。

※ 埼玉県(教育委員会を含む。)が主催する職員対象の研修会等の参加者は、無料です。

※ 年間観覧券で、県立嵐山史跡の博物館にも入館できます。

(4) 特別利用料金

熟 覧	1点1日につき	1,250円	模写・模造	1点1日につき	2,500円
撮 影	1点カットにつき	4,180円	原版使用	1点につき	3,130円

※ びょうぶは、1隻を1点、一揃いをなす巻子は、1巻を1点、掛軸は、一幅を1点とし、その他の資料は、各個を1点とします。

※ 国・県・市町村等が主催する文化、教育に係わる事業等の場合は、免除又は減額となります。

(2) 公園施設関係(5ページ図参照)

埼玉県都市公園条例等により、次のとおり定められています。

ア 利用手続

「物品の販売、興業その他の営業行為をする」「業として写真又は映画等を撮影する」等の行為をするには、埼玉県都市公園条例第9条第1項により、知事の許可が必要です。また、同条第3項では、「許可に係る行為を付することができる」と定められていますので、許可条件をお守りの上、御利用ください。

なお、公園内は、文化庁から史跡に指定されていますので、穴を掘る行為や表土を傷付ける行為はできませんので、御注意ください。

イ 利用料金(入場料又はこれに類するものを徴収しない場合)

物品の販売その他の営業行為をする場合	1㎡	半日	7円	1日	14円
興行を行う場合	1㎡	半日	8円	1日	17円
業として写真を撮影する場合	1件	半日	360円	1日	740円
業として映画等の撮影を行う場合	1件	半日	14,800円	1日	29,800円

※ 埼玉県都市公園に関する規則別表第1の抜粋です。

(3) 交通案内

- ア JR 高崎線「吹上」駅下車、朝日バス「佐間経由行田折返し場・総合教育センター・工業団地」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分。
- イ 秩父鉄道「行田市」駅下車、徒歩 30 分。
- ウ JR 高崎線「行田」駅下車、市内循環バス(1 日 9 便「観光拠点循環コース」)「JR 行田駅前」から「埼玉古墳公園前」下車、徒歩 2 分。
- エ JR 高崎線「北鴻巣」駅下車、さきたま緑道 4.8 km。





埼玉県のマスコットコバトン

館報 第16号
令和3年6月15日 刊行

埼玉県立さきたま史跡の博物館
〒361-0025 埼玉県行田市埼玉4834
TEL 048-559-1111 (総務)
048-559-1181 (学芸)
FAX 048-559-1112
<https://www.sakitama-muse.spec.ed.jp>
E-mail:k591111@pref.saitama.lg.jp